



新喜多中学校区 小中一貫通信【地域版】

No.30 2022.12

発行者 岡田(小中一貫担当)



# にじいろ通信

[じりつ きょうせい たんきゅうしん]

新喜多中学校区 小中一貫教育

～あこがれでつながる9年間～ カラー版はこちらから

## ◆いろいろな交流ができました！

12/16(金)、4回目の「6年生の中学校登校」では、広島への修学旅行を終えた6年生が、平和学習のまとめの発表を交流しました。来年、沖縄修学旅行をひかえている中学2年生も参加し、6年生の発表を聞いた後、感想を発表しました。また、中学校の夏休みの課題「平和新聞」を、2小で掲示しました。小学生は読んだ感想を、中学生に届けるためにメモに書いて、新聞に貼っています。このような取組みを通して、中学校区で「命と平和について考える力」を育てていきたいと考えています。



6時間目には平和学習交流をした中2のダンスを鑑賞しました。1日の中でいろいろ交流ができました。

次回は1/23(月),24(火)です。2小の混合クラスですごします♪

## ◆夢 TRY 科レポート

### ⑦中2「仕事に求められる力」

下の写真は、何の仕事をしているのでしょうか？



社会の変化とともに、仕事に求められる力も変わっていきます。これまで時代とともに職業が変化してきたことを知り、将来必要とされる力を想定して、今後その力を身につけるために、とるべき行動を考える必要がある、ということがわかりましたね。1月にある職場体験につながる時間になりました。



## ◆「小中合同あいさつ運動」児童会・生徒会

藤戸小(11/30)と西堤小(12/1,2)で、小中合同あいさつ運動がありました。11月の交流会で話し合われたことをいかして、呼びかけのカードを持ったり、進んであいさつをした人の数をカウンターで数えたりしました。元気なあいさつがひびく中学校区になるように、と児童会・生徒会役員が中心となって取り組んでいます。



## ★編集後記

本通信の感想アンケートに、1通のメッセージをいただきました。朝の当番に立っていただいている、ある保護者の方からです。——『朝の交通当番で、挨拶を返してくれる生徒さんが予想より少なくてすこし、残念でした。みなさんからすると知らない保護者の一人、かもしれません。がさびしい気持ちになりました。』——

新喜多中学校区では、「あいさつ・時間・おもいやり」を生活のスタンダードとして取り組んでいますが、今回の声をいただいて、私自身をふりかえる機会となりました。新喜多中学校区では、『あこがれでつながる9年間』をテーマに小中一貫教育を進めていますが、9年間の最高学年である中学3年生は、誰にあこがれるのでしょうか？子どもたちに「こんな人になってほしい」、「こんな力をつけてほしい」という思いを持つ、わたしたち大人は、子どもたちに見本たる姿を見せることができるのでしょうか？子どもたちに「あいさつができる人になってほしい」という思いを伝えつつ、子どもたちのあこがれのモデル(ロールモデル)となるべく、まずは率先して、大きな声であいさつをしようと思います。(岡田)

にじいろ通信の感想 こちらから→→→

